

平成 28 年 9 月 20 日

データサイエンス・オンライン講座
「社会人のためのデータサイエンス入門」の受講者募集開始
－ 3 万 4 千人が受講した MOOC 講座－

総務省は、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「社会人のためのデータサイエンス入門」の受講者の募集を開始します。

- 我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速化させるためには、ビジネスの現場においても、データに基づいて課題を解決する能力の高い人材、いわゆるデータサイエンスを身に付けた人材が不可欠となっています。
- このような状況を踏まえ、総務省統計局及び統計研修所は、“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「社会人のためのデータサイエンス入門」を開講し、延べ 3 万 4 千人を超える多くの方に受講いただきました。
- 更に幅広く皆様に受講いただくため、本日から、本講座の受講者の募集を開始します。
開講日は、平成 28 年 12 月 13 日（火）の予定です。
- この講座は、統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学ぶことができる内容となっています。
本講座紹介用ウェブサイト（<http://gacco.org/stat-japan>）から、受講登録が可能ですので、是非御活用ください。
- こうした取組を通じて、日本の企業活動の活性化及びオープンデータの利活用を促進し、地方創生に寄与することを期待しています。

（別添資料）

- 参考 1 「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要
- 参考 2 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について
- 参考 3 MOOCとは

（連絡先）

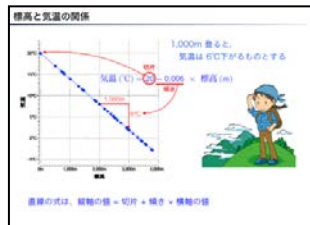
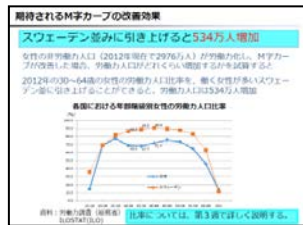
統計局統計情報システム課統計情報企画室
担当：吉田課長補佐 高橋係長
電話：03-5273-1023（直通）
FAX：03-3204-9361
E-mail:y-senryaku@soumu.go.jp

MOOC※の仕組みを活用し、無料で誰でも統計学を中心とした“データサイエンス”を学べるオンライン講座を提供

入門編である本講座では、統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学習可能

【講座の特徴】

- **日本政府初のMOOC講座**
(社会人を中心に延べ3万4千人を超える多くの方が受講)
- **身近な事例を活用した分かりやすい講義**
- **総務省職員や研究者等、多彩な講師陣が解説**



講義資料イメージ

【学習の流れ】

《講義動画》

データ分析の手法や留意点を解説
(1コマ10分程度、各週4～7コマ)



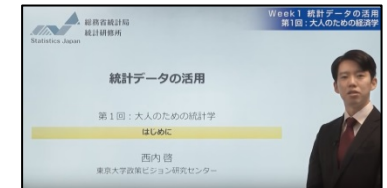
《確認テスト及び最終課題》

各週の確認テストと最終テストに回答
(第1週から第3週までは各10問、最終課題は30問)



《修了証の発行》

修了条件を満たした受講者に修了証を発行



講義動画イメージ



修了証イメージ

【各週の内容】

週	各週のテーマ	内容
1	統計データの活用	分析事例を通じ、分析に用いる統計的な考え方・データの見方の基本的な考え方を学ぶ (データサイエンスとは、M字カーブの改善効果、スポーツをデータで科学する等)
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎的な理論を学ぶ (代表値、分散・標準偏差、関係の見方・相関係数、回帰分析、標本分布等)
3	データの見方	データの見方について基本的な方法を学ぶ (比率の見方、時系列データの見方等)
4	公的データの入手とコースのまとめ	誰もが入手可能なデータである公的統計データの入手方法を学び、コースのまとめを行う (公的データの入手方法、e-Statの使い方、コースのまとめ等)

※MOOCの仕組みについては参考3参照

【参考2】 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について

ICTの急速な発展のもと、データに基づく数量的な思考により、課題を解決する能力、いわゆる、“データサイエンス”を身に付けた人材が不可欠。

“データサイエンス”力の高い人材育成により、我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速。

【課題】 我が国でデータサイエンスに関する人材が不足。

このため、“データサイエンス”力の高い人材育成とその学習基盤整備が急務。

【当面の政策】

統計（データ）リテラシーの普及・啓発を先導してきた総務省が、ICTを活用し喫緊の本課題へ対応。ビジネスマンなどの社会人に対するデータサイエンス普及のための以下の取組を統計学会等と協力し推進。

① 統計力向上サイト「データサイエンス・スクール」の開設（平成26年6月1日）

パソコンやスマートフォンなどでデータの活用方法や統計に関する知識を、いつでも誰でも気軽に学べる学習サイト

② 「データサイエンス・オンライン講座」の開講（平成27年3月17日）

ウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義（「MOOC」を活用）

○ 「社会人のためのデータサイエンス入門」（平成28年12月13日開講予定）

⇒ 3回の開講で延べ3万4千人を超える受講者

※開講実績：平成27年3月17日開講（受講者15,435人）、11月17日開講（受講者8,425人）、平成28年3月1日特別開講（受講者10,375人）

（特別開講時は、11月17日開講時と同じ内容の課題であるため、修了証は発行していない）

○ 「社会人のためのデータサイエンス演習」（平成28年4月19日開講）

※開講実績：平成28年4月19日開講（受講者13,939人）



➡ 「世界最先端IT国家創造宣言」（平成28年5月20日閣議決定）等に基づき推進

【参考3】 MOOCとは

【MOOCとは】(Massive Open Online Courses の略)

- インターネット上で誰でも無料で参加可能な、大規模でオープンな講義のこと。ビデオ講義と試験やレポート、ディスカッション可能な掲示板を提供し、修了書を発行。

講座選び



受講登録



受講



修了証発行

- ・KHAN ACADEMY: 非営利の教育サイト、初等教育から大学レベルの講義まで。
- ・UDACITY: スタンフォード大学の教員が設立した企業によるサービス、コンピュータサイエンス中心。
- ・Coursera: スタンフォード大学の教員が設立した企業によるサービス、世界の約100大学・機関が講座を開設。東京大学が参加。
- ・edX: MITとハーバードが共同設立した非営利組織、世界の約40大学・機関が講座を開設。京都大学が参加。

【地域MOOC】

- 自国の大学が提供する母国語でのサービスの必要性が高まり、各国で開設。
 - ・FutureLearn(英国)、France Université Numérique(フランス)、XuetangX(中国)、miriada X(スペイン)、EDRAAK(ヨルダン)、The Open University of Israel(イスラエル)



【日本の状況】

- 日本版MOOCの普及・拡大を目指し、「JMOOC」(日本オープンオンライン教育推進協議会)が平成25年10月に発足。26年4月から「gacco」等のサイトで講座を開設。